



高齢者無料乗車券 時間制限の撤廃！



無会派 ● 森 すなお 議員

施政方針から

問 「湖南省版小規模多機能自治」でのサービスの手は、まちづくり協議会や区・自治会ですが、組織維持を地域任せにせず、市が積極的に関わる必要が大切では。

答 区・自治会加入のメリットを共に考え、区・自治会が抱える課題解決に向け行政も積極的に関わります。

教育方針から

問 「安全・安心な教育環境づくり」におけるマスク対応は、子どもや保護者に、教師の思いが正しく伝わる配慮が求められるのでは。

答 コロナ禍における対応には大変苦悩して来ましたが、今後も丁寧な対応を重ねて参ります。

過去の質問検証

**① 高齢者無料乗車券
利用時間の制限を**

撤廃すべきでは。

答 本年4月1日から、全ての時間帯でご利用いただけるよう、地域公共交通会議に諮り、実施要綱も見直します。

② 手話通訳者の拡充

問 手話通訳者の拡充を求める請願が全会一致という非常に重い意思決定がなされたが市の対応は。

答 体制拡充の必要性は担保できるとの想定を元に手話通訳者の拡充に向け取り組みます。

③ ごみステーション

問 市民のごみステーションの適切な利用を促すため、交付金を「ごみステーションの新設及び維持補修の補助金」に移行しては。

答 補助金への移行で公費負担が明確になり、区・自治会未加入者の利用につながるのではとの提起を地域代表者会議に諮ります。

湖南省市の人口減少、 少子化対策について



みらいの風 ● 奥村 幹郎 議員

湖南省市の出生率の推移について

問 人口千人当たりの出生数の推移は、平成14年には12・48で、平成19年に9・27と大きく落ち込み、平成30年には7・17と県平均の8・00よりも低い値となっています。

湖南省市の合計特殊出生率の推移について

答 平成28年には、本市は1・55でしたが、平成30年には大きく落ち込み、1・35、その年の全国平均は、1・42、滋賀県平均は1・55でした。

湖南省市の未婚率推移について

答 平成22年と平成27年を比較しますと、すべての年代で平成27年のほうが高く、35歳以上になるとその差が大きく上昇していますので、晩婚化が進行していると言えます。

子育て応援について

問 給食費の無償化について

答 人口減少、少子化対策における子育て応援について、本市では令和5年度、子どもが自立した個人としてひとしく健やかに成長することができるとして、実現に向けた「こどもまんなか事業」の一つとして、中学生の給食費負担金の無償化を実施します。

子育て世帯の負担軽減のため、子どもたちの成長を社会全体で支えていくことが必要であることから、今回子育て負担の多い中学生について、給食費負担金6,776万5千円の無償化を新年度予算案に盛り込みました。今回の無償化により中学生一人当たり年間4万9500円の負担軽減となります。